平成28年12月20日 RESAS政策立案ワークショップ

## ニセコは観光で稼げているのか

ニセコ町企画環境課

## 本日の内容

1.背景

~ 多くの観光客と投資

2. 仮説

- ~ ニセコは観光で稼げていない
- 3.政策立案 ~ 町内での観光消費を増やす

## 1. 背景 ~多くの観光客と投資

## 北海道ニセコ町

#### 【人口】(2015年国勢調査)

- ·総人口: 4,958人
  - ※ うち外国人住民143人
  - ※ <u>2.8%増加</u>(2010年比)
  - ※ 道内で人口増加した8市町(増加率順) : 東神楽町、東川町、ニセコ町、千歳市、札幌市、幕別町、帯広市、恵庭市

Tokyo

·世帯: 2,274世帯 🚮

·高齢化率: 27.2%

#### 【産業】

·基幹産業: 農業、観光業

・特産品: じゃがいも、米、乳製品等Niseko Sapporo

·観光客数: 169.3万人(2015年度)

·外国人延宿泊数: 17.7万人泊(2015年度)

#### 【まちづくり】

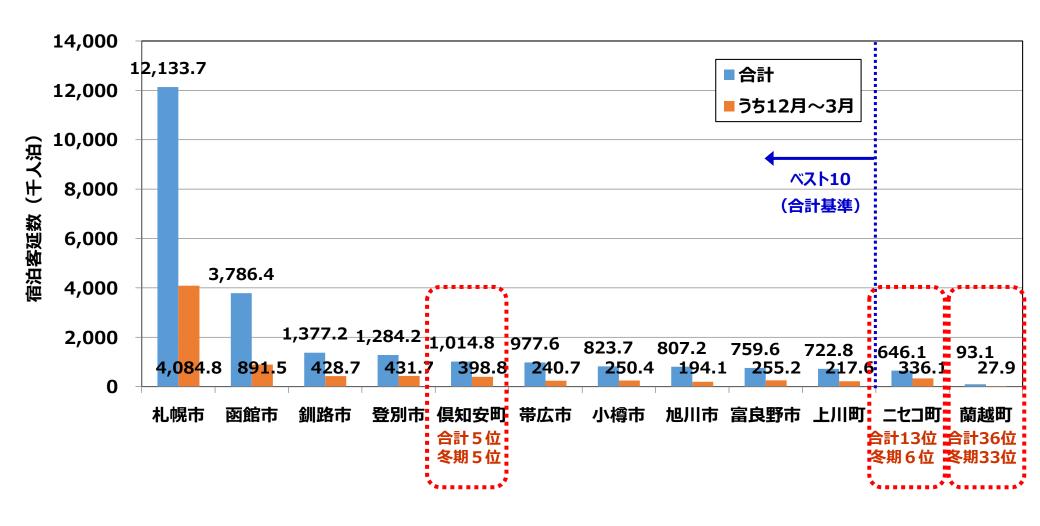
- ・全国初「まちづくり基本条例」(町民主体のまちづくり)
- ・環境モデル都市
- ・ニセコルール(パウダースノー)、ニセコ観光圏

新千歳空港 ⇔ ニセコ 車で約2時間 約100km JRで平常時約3時間30分(札幌・小樽乗換)

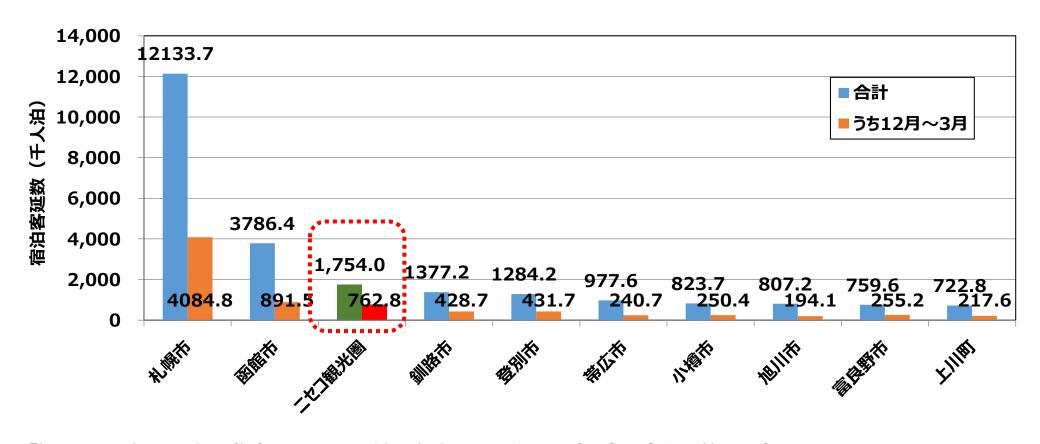
札幌市 ⇔ ニセコ 車で約2時間15分 約105km (中山峠経由) JRで平常時2時間30分 (直通)



### 倶知安町・ニセコ町の冬期(12月~3月)宿泊客延数は、道内でも上位。



## ニセコ観光圏(ニセコ町、倶知安町、蘭越町)の合計で考えれば、宿泊客延数は、道内第3位。ニセコエリアは、道内有数の観光スポット。



「観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する法律」(平成20年法律第39号) (定義)

第二条 この法律において「<u>観光圏」とは、滞在促進地区が存在し、かつ、自然、歴史、文化等において密接な関係が認められる</u> <u>観光地を一体とした区域であって、当該観光地相互間の連携により観光地の魅力と国際競争力を高めようとするもの</u>をいう。 (平成26年7月、ニセコ観光圏整備実施計画の認定)

平成27年度の宿泊客延数(千人泊) 北海道観光入込客数調査報告書(平成28年8月、北海道経済部観光局) ニセコエリアへの観光投資(主にホテルやコンドミニアムの建設投資)も活発。 国際的なホテルチェーンも進出している。

#### ニセコ町 (東山地区)

<u>リッツ・カールトンリザーブ</u> 50室(富裕層向け施設) 2020年開業予定 ※今後10年間でリッツ・カールトンブランドのコンドミニアムを誘致

#### **倶知安町**(HANAZONO地区)

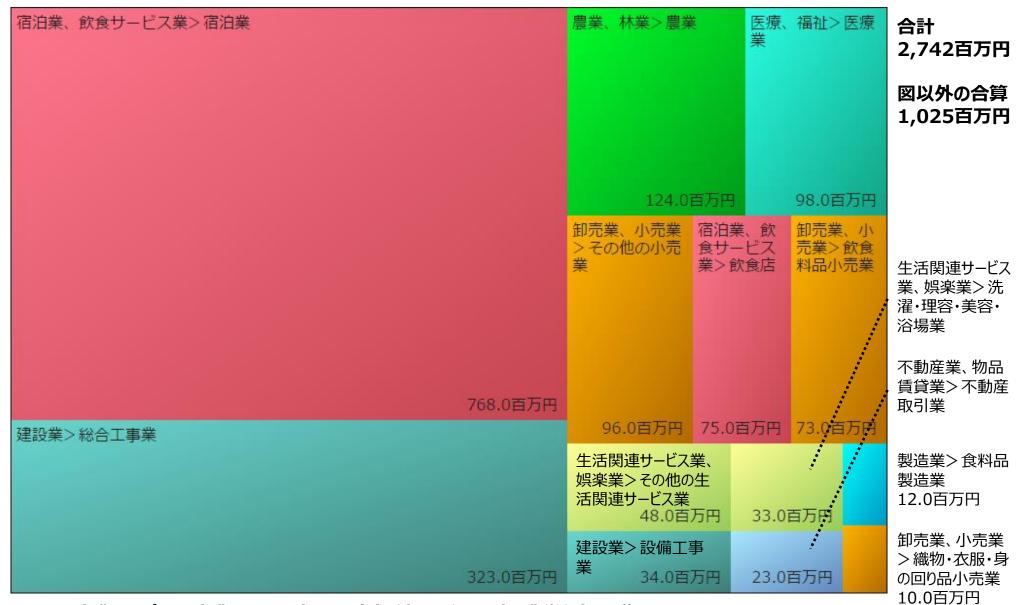
**パーク・ハイアット・ニセコHANAZONO** 100室 2019年開業予定

#### 倶知安町 (ヒラフ地区)

**スカイ ニセコ** 高級コンドミニアム96戸 2018開業予定 (米国人らでつくる合同会社サミットホテルマネジメント)

※ニセコエリア近隣では、「ウェスティン ルスツリゾート」(留寿都村)や 「シェラトン 北海道キロロリゾート」(赤井川村)も開業済み。

## ニセコ町で付加価値額(企業単位)が高い業種は、宿泊業、総合工事業、 農業。



RESAS 産業マップー全産業花火図(2012年)付加価値額(企業単位)中分類

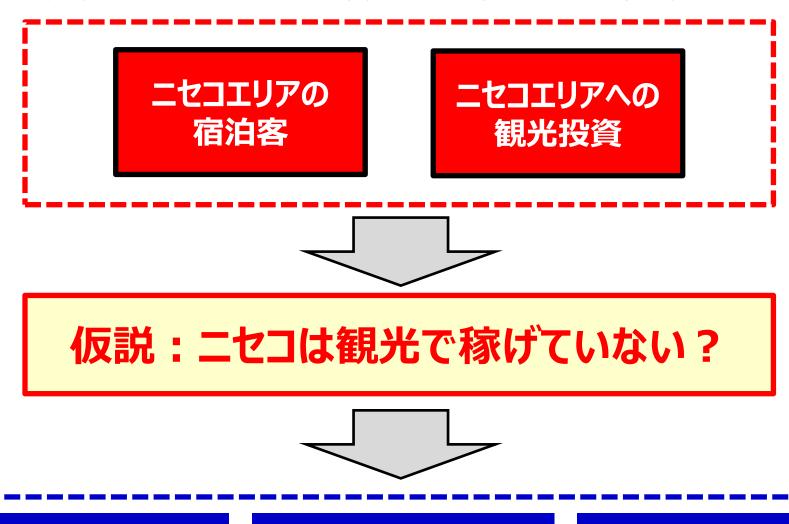
# ちなみに、倶知安町で付加価値額(企業単位)が高い業種は、総合工事業、不動産取引業、宿泊業。



RESAS 産業マップー全産業花火図(2012年)付加価値額(企業単位)中分類

## 2. 仮説 ~ニセコは観光で稼げていない

「観光で稼ぐ」とは、地元の産業、町民、自治体の収入が向上すること。観光客や投資が、地元の稼ぎにつながっていないのではないか?



観光業等が 町外から資金を稼いでいるか 町民の所得は向上しているか

自治体の財政力に つながっているか

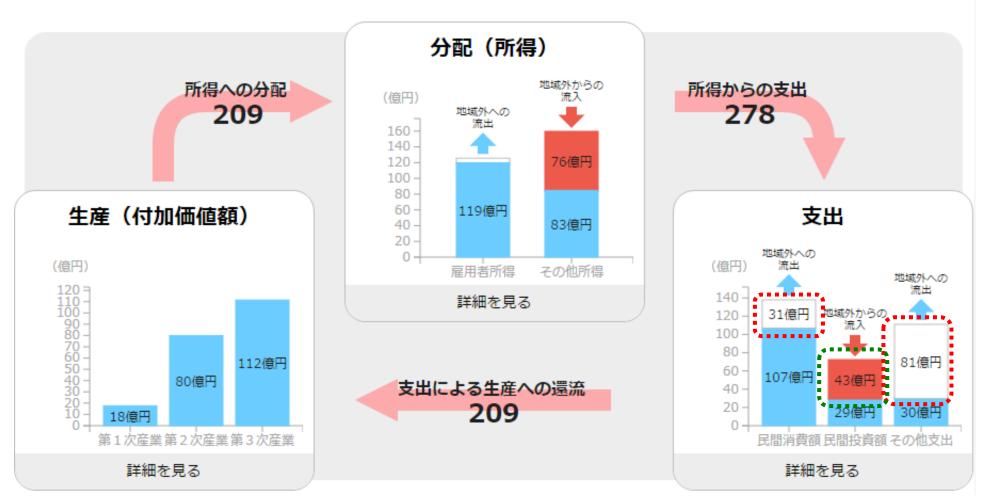
## ニセコ町は、町外からの民間投資が多く得られている一方、民間消費や調達を 町外に頼っている。

地域経済循環率

75.1%

### 地域経済循環図 2010年

指定地域:北海道二セコ町



ちなみに、倶知安町は、民間消費や調達を町内でも受け止められており、地域 経済循環率はニセコ町を上回る。

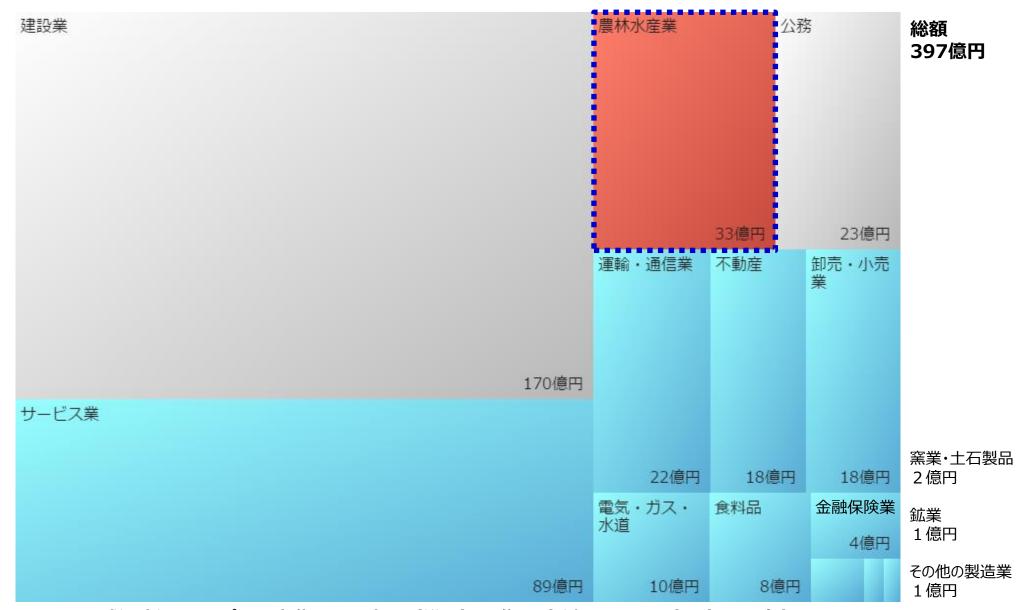
地域経済循環率 103.3%

### 地域経済循環図 2010年

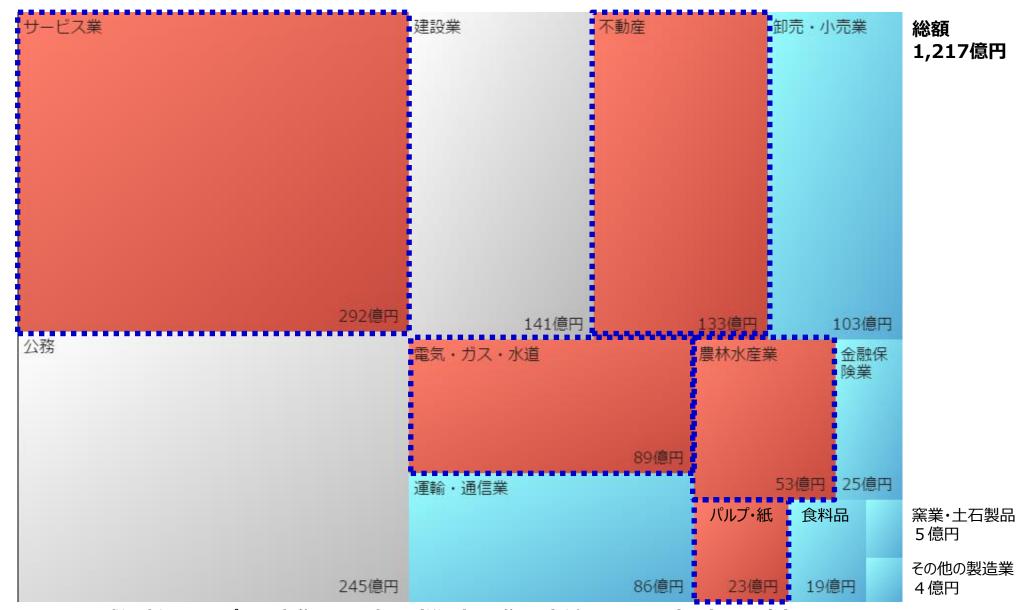
指定地域:北海道倶知安町



## ニセコ町の基盤産業の一つである観光業でも、町外への支出が超過している (=観光客や投資が、観光業の稼ぎにつながっていない) おそれ。

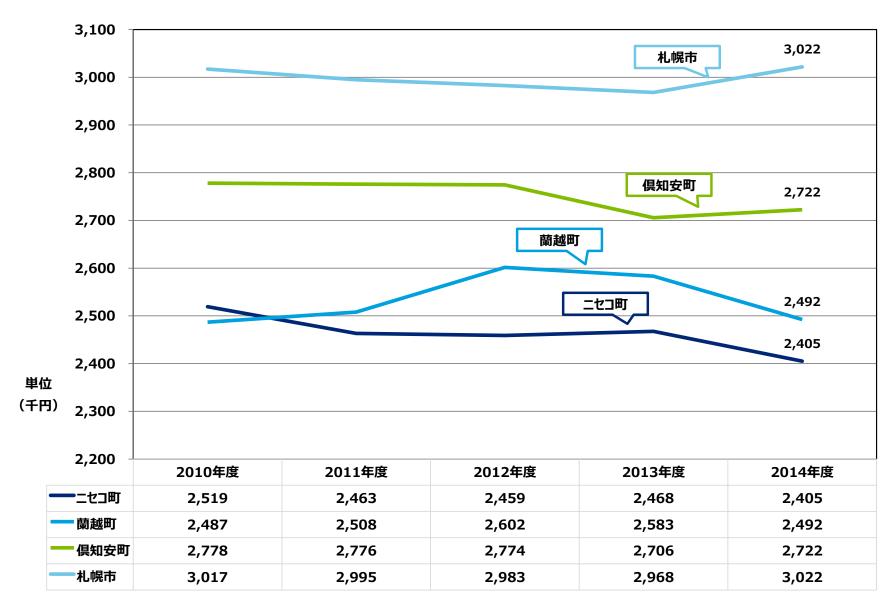


ちなみに、倶知安町は、農林水産業以外に、サービス業、不動産、電気・ガス・ 水道、パルプ・紙でも、町外から資金を稼げている。



RESAS 地域経済循環マップ – 生産分析 – 生産額(総額)中分類(移輸出入カラー)(2010年)

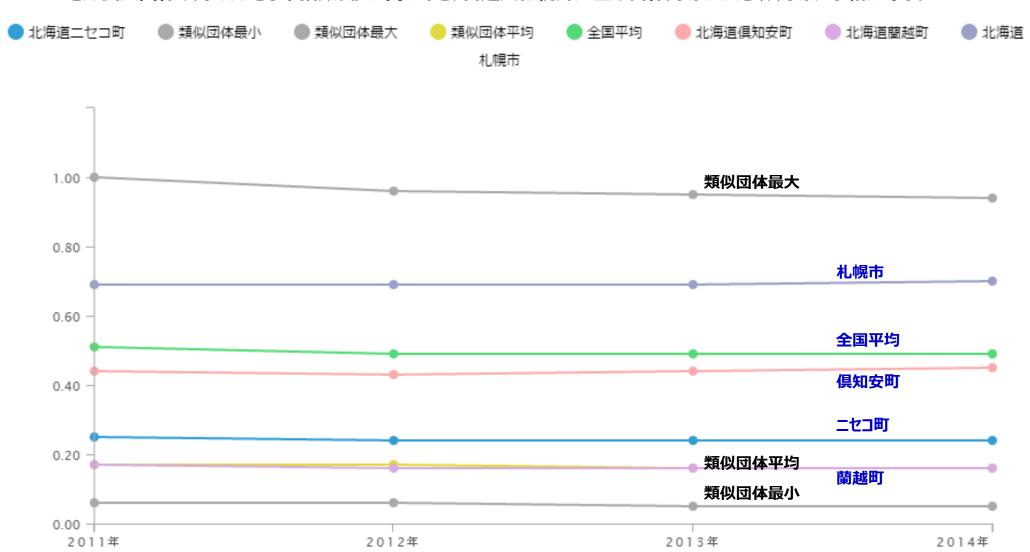
## ニセコ町の所得は、札幌市や倶知安町と比較して、相対的に低い。 観光客や投資が、町民の所得向上につながっていない。



### ニセコ町の財政力指数は、札幌市や倶知安町と比較して、相対的に低い。 観光客や投資が、自治体の財政力につながっていない。

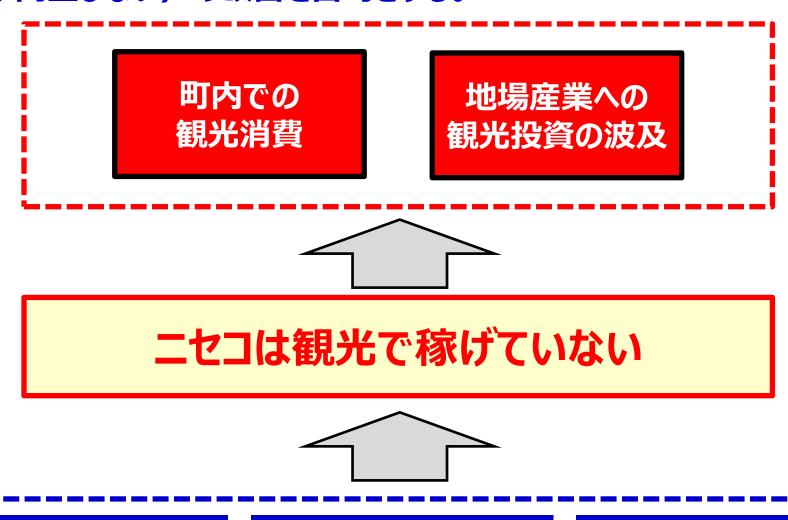
財政力指数=基準財政収入額/基準財政需要額(過去3年間の平均値)

※地方公共団体の財政力を示す指数。値が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きく、財源に余裕がある。



RESAS 自治体比較マップー自治体財政状況の比較ー財政力指数の推移

政策立案は、「ニセコは観光で稼げていない」(=地元の産業、町民、自治体の収入が向上しない)の改善を目的とする。



町外から資金を稼いでいる 産業は、農林水産業のみ

納税義務者一人当たり課税対象所得が低い

財政力指数が低い

## 3. 政策立案 ~町内での観光消費を増やす

今回の政策立案は、「町内の観光消費」を増やすことに範囲を絞って行う。 (今回は、「地場産業への観光投資の波及」は扱わない。)

### 町内での観光消費

働き手を 確保する

政策立案を実現するための働き手(人材)を確保する。

観光客と「食」をつなぐ

観光客(特にヒラフの外国人観光客)が、ニセコ町産の食品 をもっと消費できるようにする。

ニセコ町の 「食」を生かす

観光客に売り込めるニセコ町の「食」の強みを見出す。

### 政策立案は、ニセコエリアの地域経済に関するSWOT分析(案)を踏まえ た内容であるかにも着目する。

#### S:強み

・観光客

- •観光投資
- •在住外国人
- 高級ホテル、コンドミニアム
- ・ペンション
- •温泉
- ・域外から資金を稼ぐ農業
- ・ニセコワイン特区
- スキー場(パウダースノー、ニセコルール)
- ・新千歳空港や札幌・小樽から近い
- ·JR函館本線
- ・ニセコ観光圏の認定(デジタルサイネージ含む)

#### W:弱み

- ・観光消費で十分稼いでいない
- ・観光投資で十分稼いでいない
- 有効求人倍率が高い (働き手不足、住宅不足)
- ・公共交通が脆弱
- ・飲食店が不足 (面的な広がり+一部は偏在)
- ・インフラが不足(投資にも影響)
- ・観光需要の季節変動

#### O:機会

- ・北海道新幹線の札幌延伸 (観光客や移住者の誘致)
- ・高速道路の延伸
- ・2026札幌オリンピック(アルペンスキー会場)

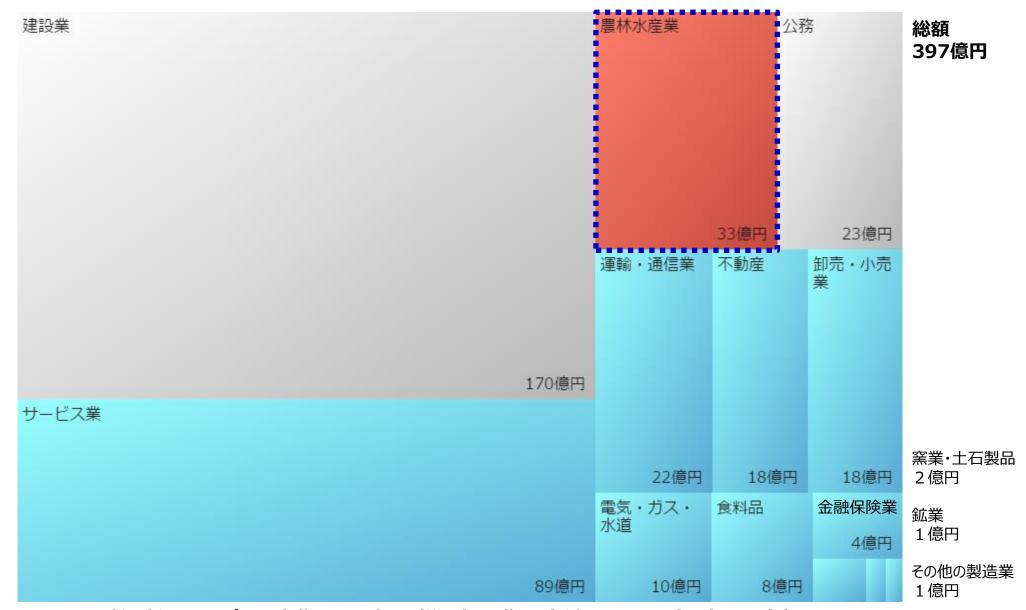
#### T:脅威

- ・北海道新幹線の札幌延伸 (観光客や移住者の流出)
- ・JR函館本線の廃線
- ・無秩序な投資(エリア全体の質の低下)
- ・スキー人口の減少

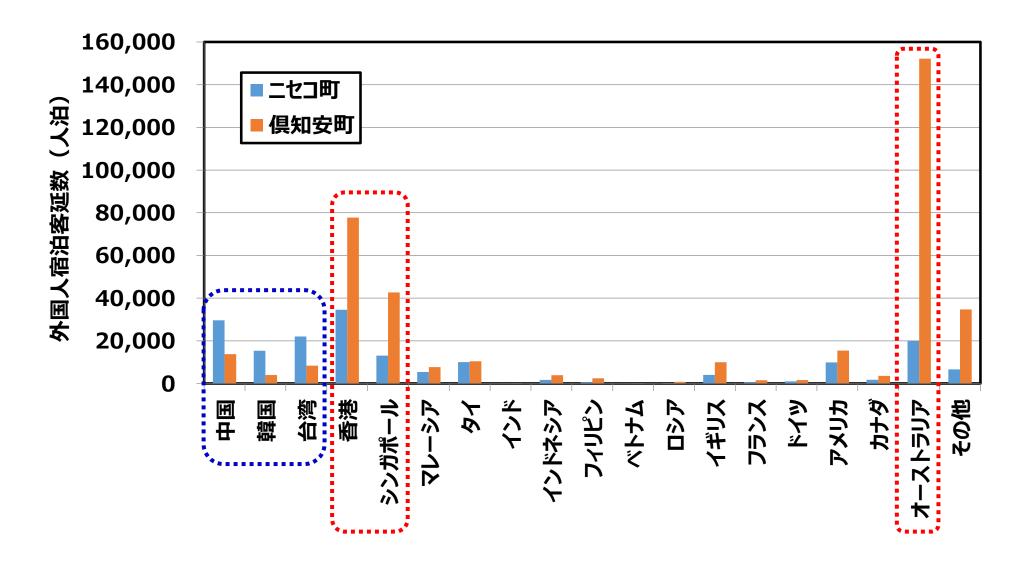
**2ľ** 

## (1) ニセコ町の「食」を生かす

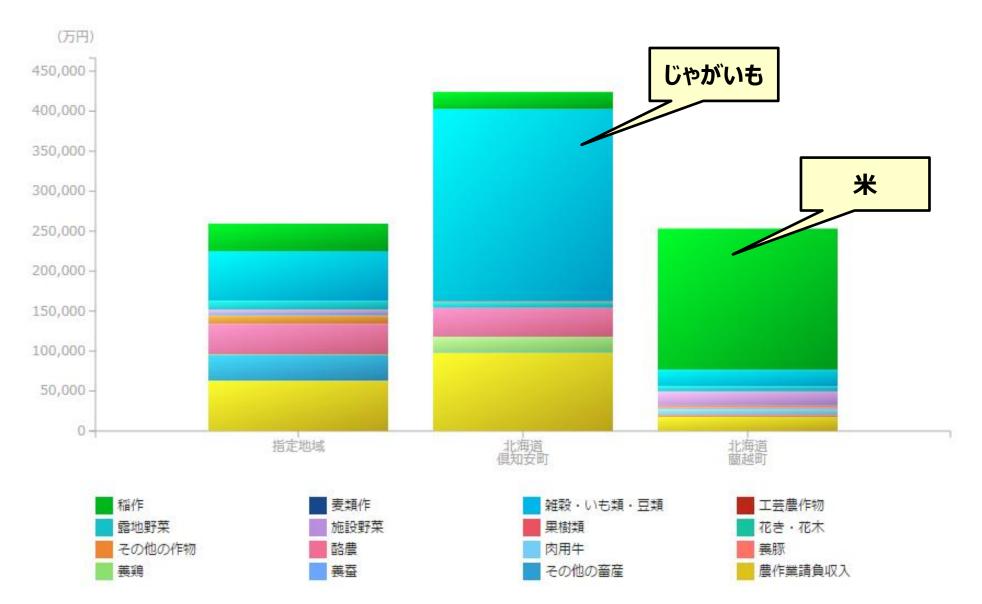
## ニセコ町の農林水産業は、町外から資金を稼いでいる唯一の産業。 域外から資金を稼ぐ戦略は、「食」から見出せるのではないか?



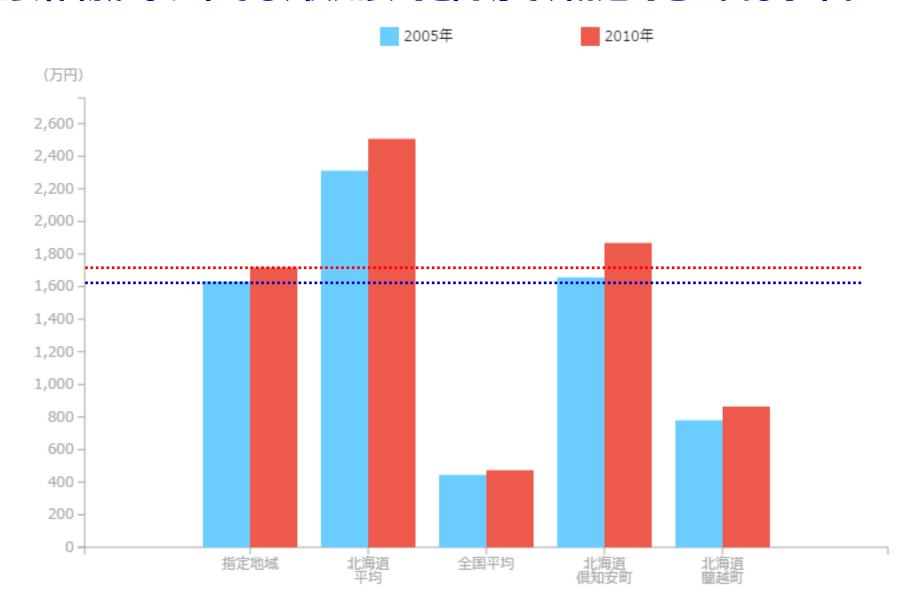
### 政策提案における「食」のターゲットは、倶知安町(ヒラフ)の外国人観光客。 その国籍は、オーストラリア、香港、シンガポールが多く、ニセコ町とは異なる。



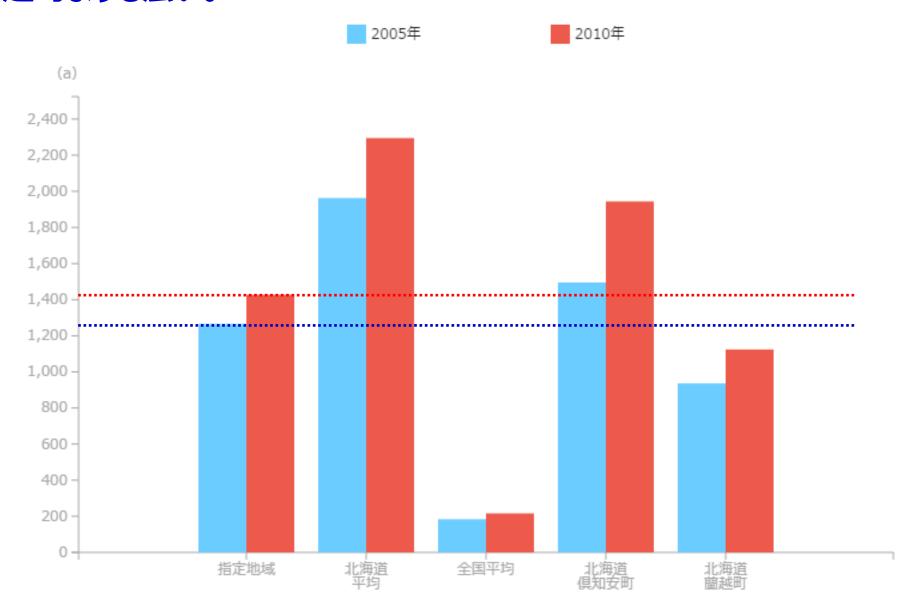
## ニセコ町は、倶知安町(じゃがいも)や蘭越町(米)のように、販売金額の大部分を占めている主要作物がない。



## ニセコ町の農産物販売金額(経営体あたり)は、販売金額の大部分を占める 主要作物がない中でも、倶知安町と同等で、蘭越町を上回る水準。

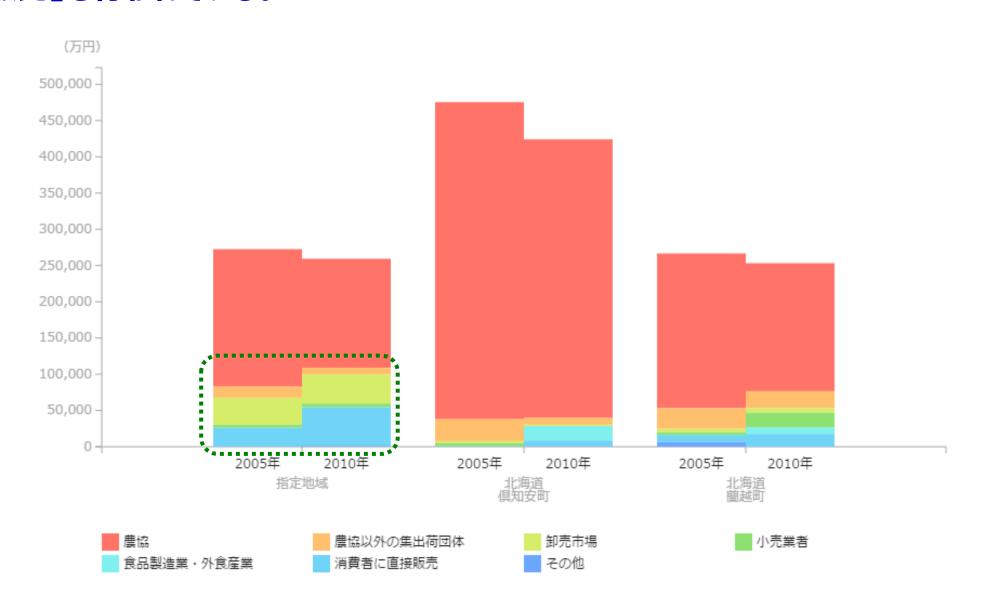


## ちなみに、ニセコ町の経営耕地面積(経営体あたり)は、倶知安町よりも狭く、 蘭越町よりも広い。



RESAS 農林水産業マップー農地分析 – 経営耕地面積(経営体あたり) (すべての農地区分)

## ニセコ町の農産物の販売は、「農協」だけでなく、「卸売市場」や「消費者に直接 販売」も行われている。

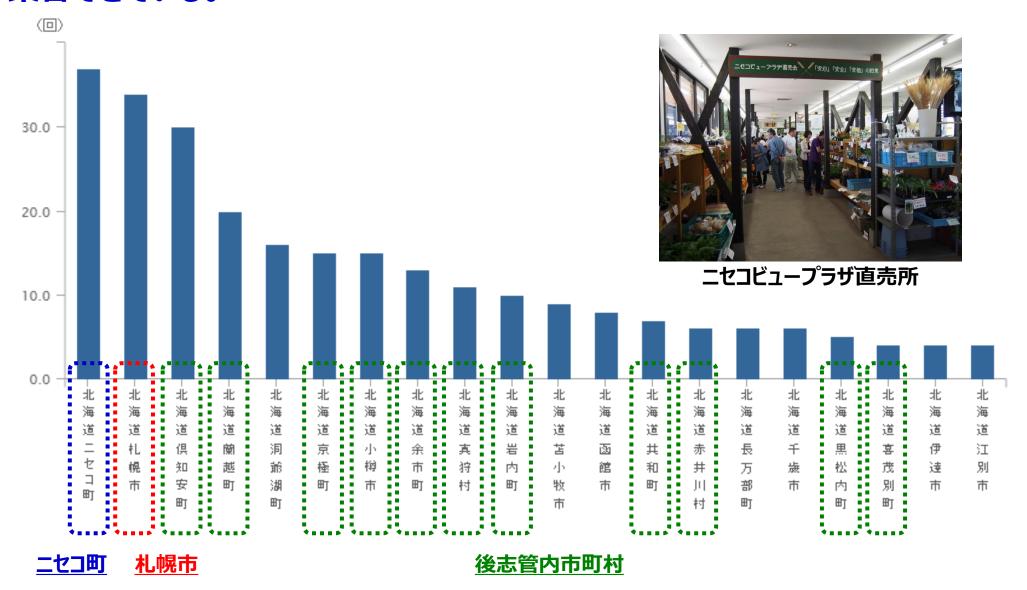


# 「消費者に直接販売」は、道の駅「ニセコビュープラザ」の地元農産物の直売所等で行われている。「重点道の駅」(平成26年度)に選定された。

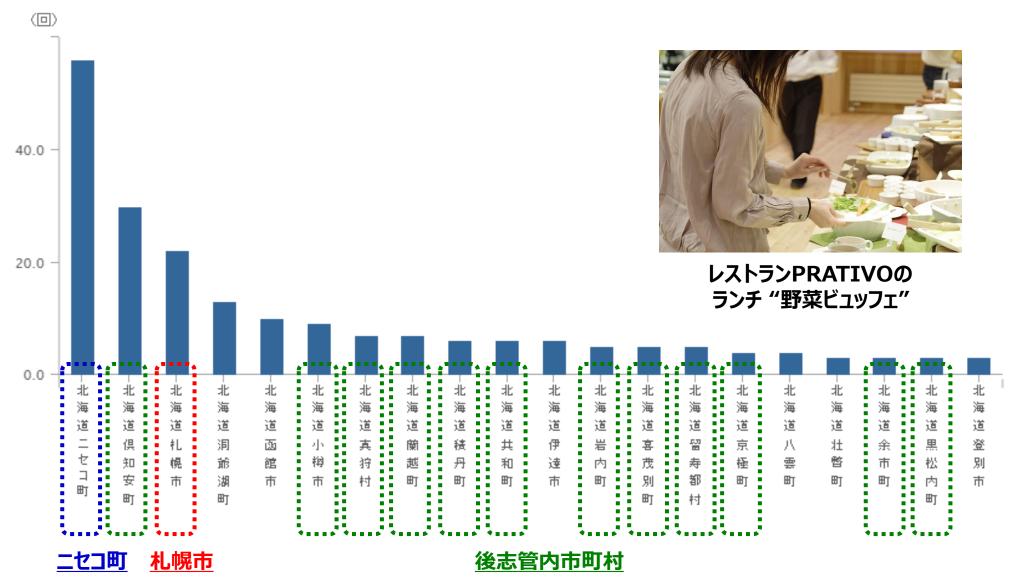


「重点道の駅」(国土交通省):地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるもの 29

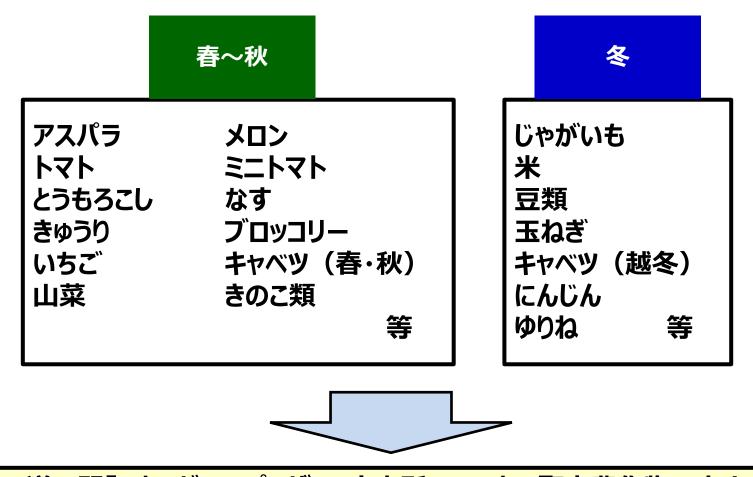
## 道の駅「ニセコビュープラザ」は、札幌市や後志管内を中心に、町外の訪問者を 集客できている。



# ちなみに、「高橋牧場ニセコミルク工房」の訪問者は、道の駅「ニセコビュープラザ」の客層とほぼ同じ。



## 道の駅「ニセコビュープラザ」の直売所の年間売上げは、約3億円にも上る。 "品揃えの多種多様さ"こそ、ニセコ町の「食」の強みではないか?

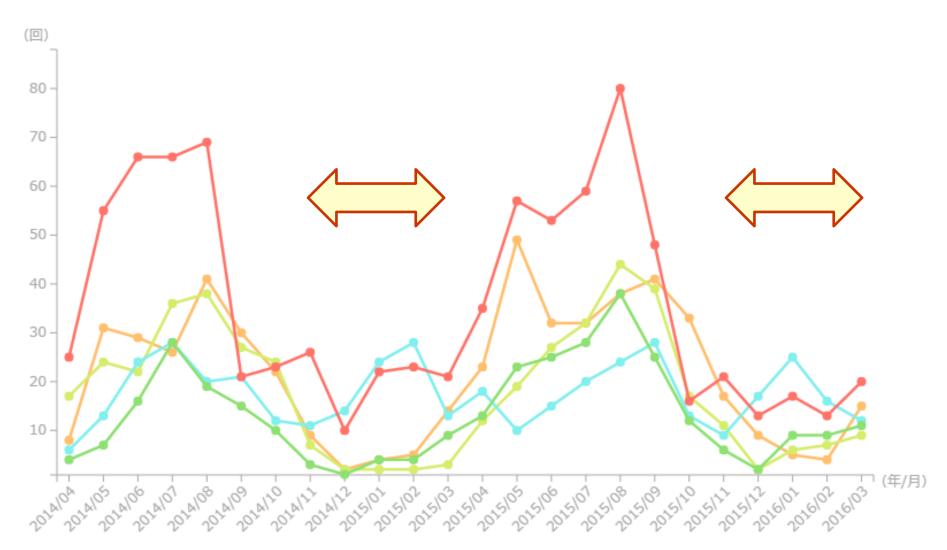


**道の駅「ニセコビュープラザ」の直売所でのニセコ町産農作物の売上 281百万円**(平成26年度)→ **309百万円**(平成31年度目標)

## (2) 観光客と「食」をつなぐ

## 道の駅「ニセコビュープラザ」と「高橋牧場ニセコミルク工房」の訪問者は、 冬期(11月~3月)に少なくなる。

● ヒルトンニセコビ… ● 道の駅ニセコビュ… ● 高橋牧場ニセコミ… ● ニセコノーザンリ… ● ニセコアンヌプリ



RESAS 観光マップ - 目的地分析 - 目的地検索ランキングの推移(2014年4月~2016年3月、休日、自動車)

# 道の駅「ニセコビュープラザ」の冬期対策では、若年層のニーズとして、域外から資金を稼ぐことができる「食」の施策が挙がっている。

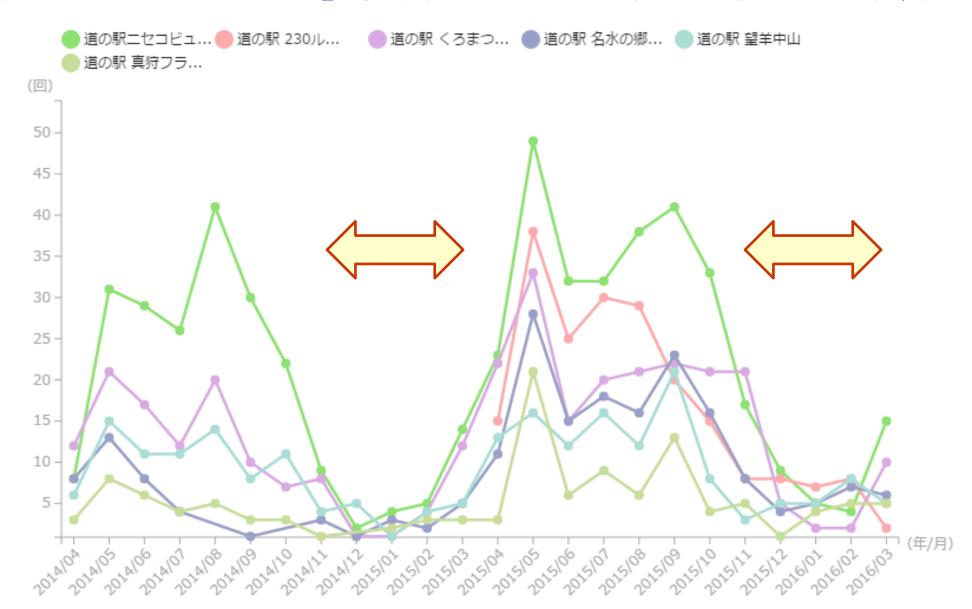
#### 【改修に期待されている施策 - 冬期対策で期待されていること】

- 冬期は、寒い、降雪、乾燥、暗くなるのが早いなど、車外、戸外での活動が大きく制約されます。また、道路事情も不安定となり、より安全な旅行工程の確保が最大の関心事となります。
- そこで、暖かい場所、**身体を温める飲食**、身体を伸ばせる場所、退屈しない場所がセットで必要です。
- 39歳以下の冬期でも活動的な若い階層の方から、「現状から変わってほしい(75.0%)」との要望が大きく、期待することは、食事のできる場所 (52.9%)、軽食を買える場所 (47.1%)、越冬野菜(47.1%)、吹雪や強風を避ける待避施設(47.1%)などです。
- その階層の志向を踏まえると、「北海道らしいペンションのフロント、サロン(談話室)風のしつらえ」を踏まえた雰囲気づくりなど、冬期のアウトドア旅行のイメージと通奏する施設計画が効果的です。「保存や料理のための情報」が42.2%、ついで「レジの台数」34.8%、「周辺の飲食店の情報」22.2%、「ニセコ町の情報」11.1%、「品揃えに対する助言」9.6%、「周辺の道の駅の情報」、「ベンチ」7.4%、「購入した商品の生産情報」5.9%となっています。

# 道の駅「ニセコビュープラザ」は、近隣の道の駅よりも訪問者が多い。しかし、「ニセコビュープラザ」に限らず、道の駅は、冬期の訪問者は少なくなる。



# 道の駅「ニセコビュープラザ」は、近隣の道の駅よりも訪問者が多い。しかし、「ニセコビュープラザ」に限らず、道の駅は、冬期の訪問者は少なくなる。

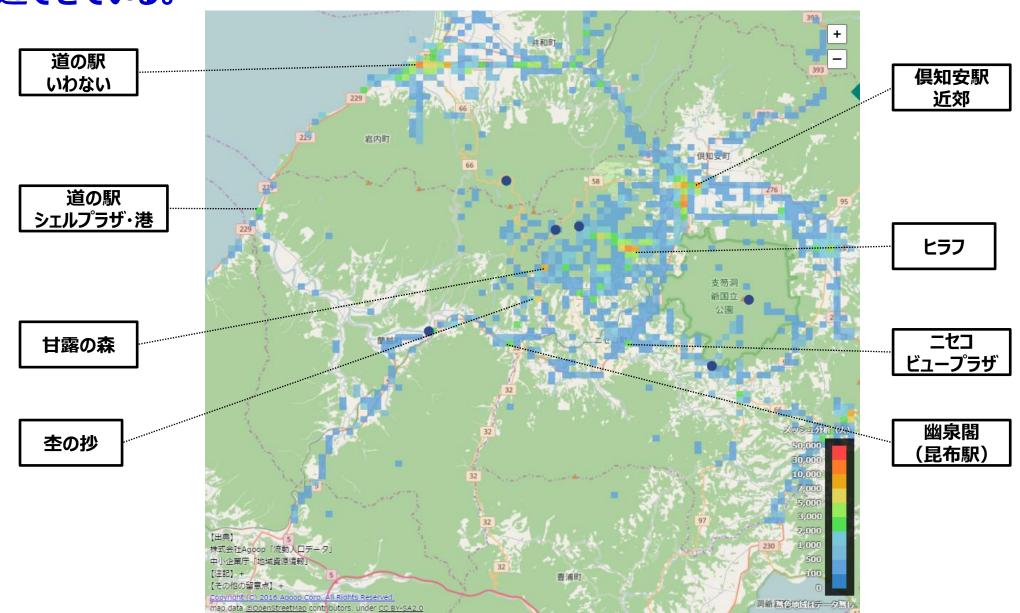


RESAS 観光マップ - 目的地分析 - 目的地検索ランキングの推移(2014年4月~2016年3月、休日、自動車)

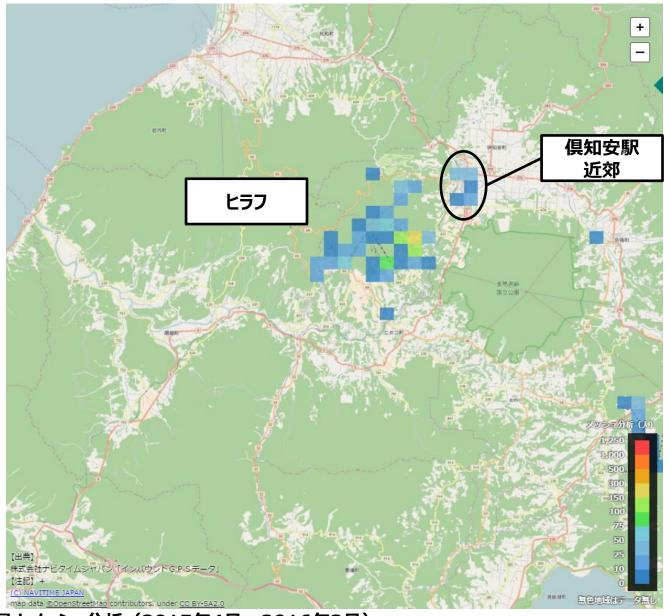
北海道内で冬期に集客できている札幌圏以外のスポットは、スキー場か温泉。



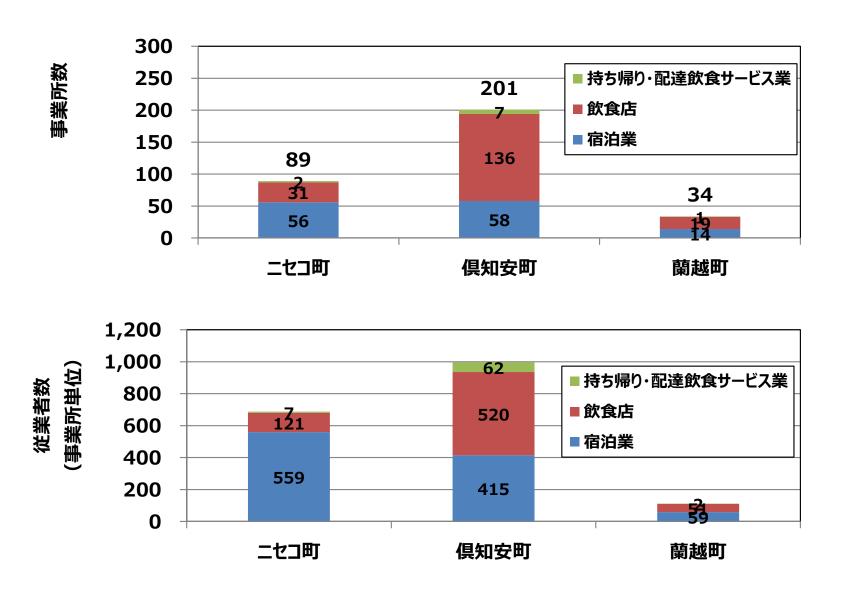
## ニセコエリア全体では、ヒラフと倶知安駅近郊に限らず、ニセコ町内も含めて、周 遊できている。



## しかし、ニセコエリアの外国人観光客は、ヒラフと倶知安駅近郊だけに偏在。 冬期の食事・交通難民化をいかに防ぐかが課題。

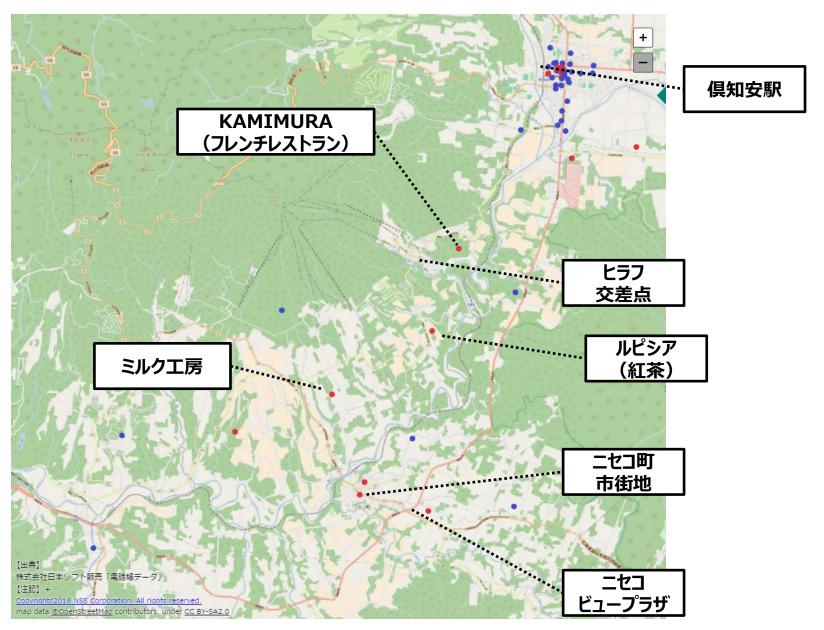


## ニセコ町・蘭越町の飲食店は、事業所数・従業者数(事業所単位)とも、倶知安町と比較して少ない。

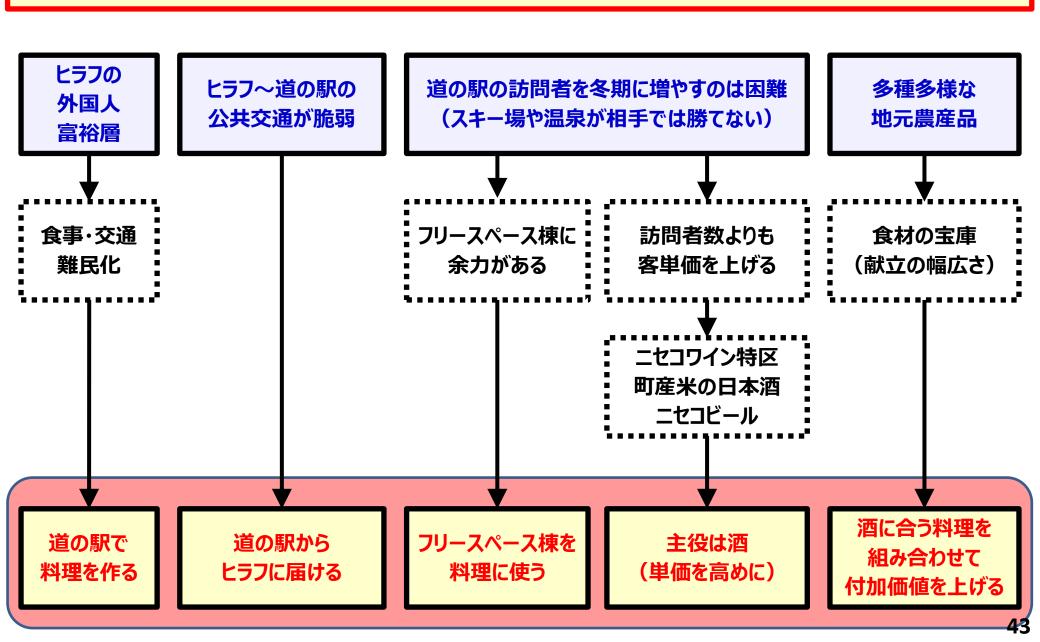


RESAS 自治体比較マップ - 事業所数及び従業者数(事業所単位) - 宿泊業, 飲食サービス業(2014年)をニセコ町編集 41

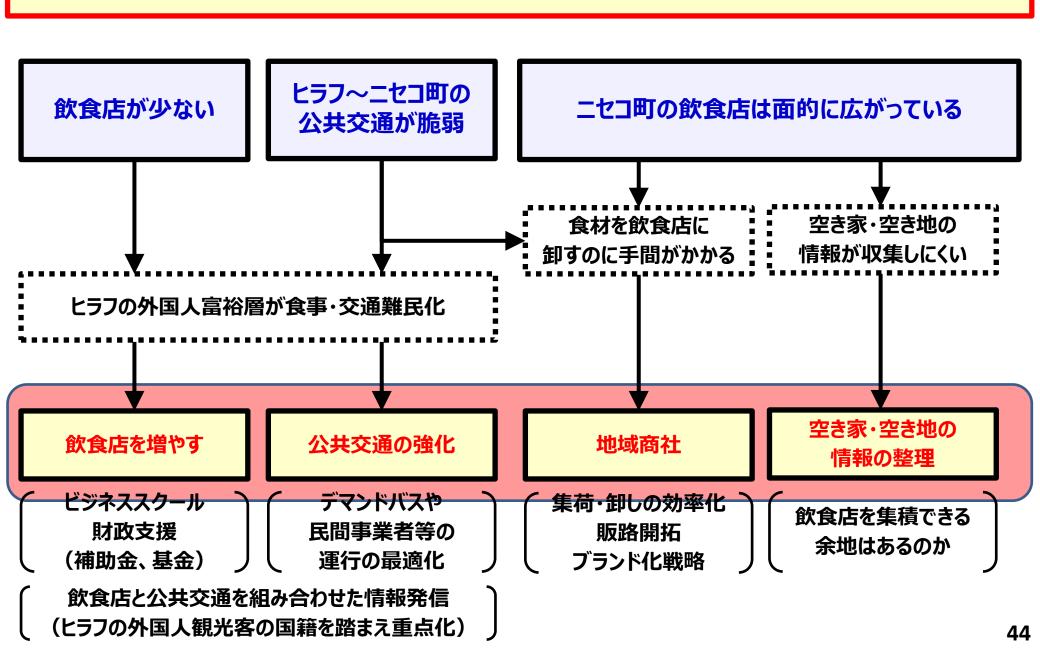
### 倶知安駅近郊の集積と比べると、ニセコ町の飲食店は面的に広がっている。



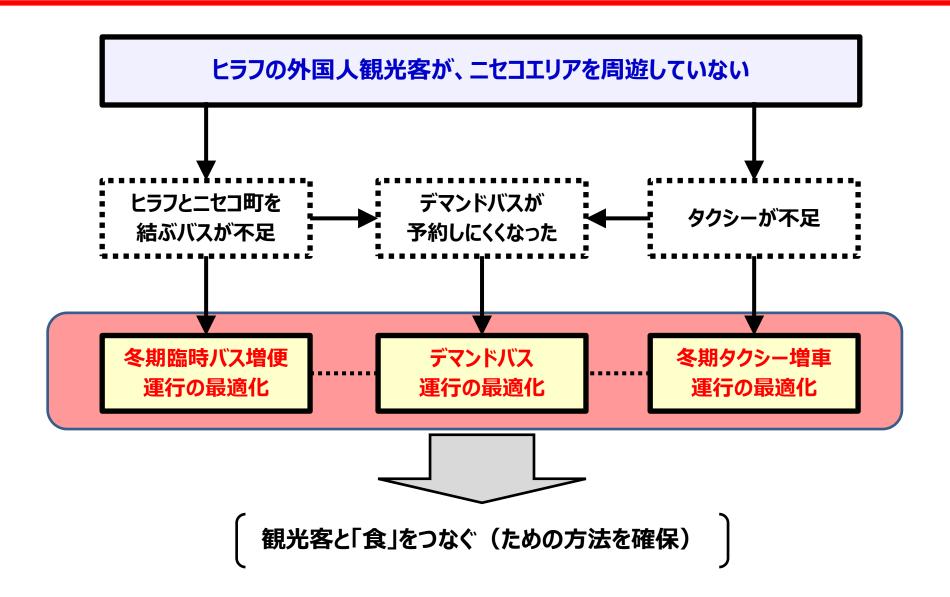
#### 道の駅「ニセコビュープラザ」から、冬期の「食」(料理)をヒラフに届ける!



#### ニセコエリアの飲食店を増やし、食材と観光客を飲食店に集める!



#### 公共交通を最適化して、観光客がニセコ町内を周遊しやすくする!



地域再生計画「ローカルスマート交通構築事業」(平成28年12月認定)に基づき、まずはニセコ町内の公共交通の最適化から着手4.5

ちなみに、農家や飲食店等のヒアリングによれば、観光客と「食」をつなぐ取組は、すでに検討・実践が進んでおり、課題も見出されている。

#### 課題

#### 対応の現状や方向性(案)等

通年の 安定供給 特に冬期は、農産物の種類・量ともに少なくなる。

- →野菜には旬があり、通年で全ての食材が100%町産にはならない
- →ニセコ町内に限らず(広域連携)、ニセコエリアの多種多様な食材も生かす

利用ロットの マッチング

- 1対1の取引単位で考えると、需要と供給がマッチングしない場合がある。
- →グループ単位での安定供給にも着目する
- →農産物の目利き等、農家の個性と主体性を大切にできることが前提

配送

集荷・卸しを一元化して効率化を図る。

→農産物の目利き等、農家の個性と主体性を大切にできることが前提

6次産業化 (加工品)

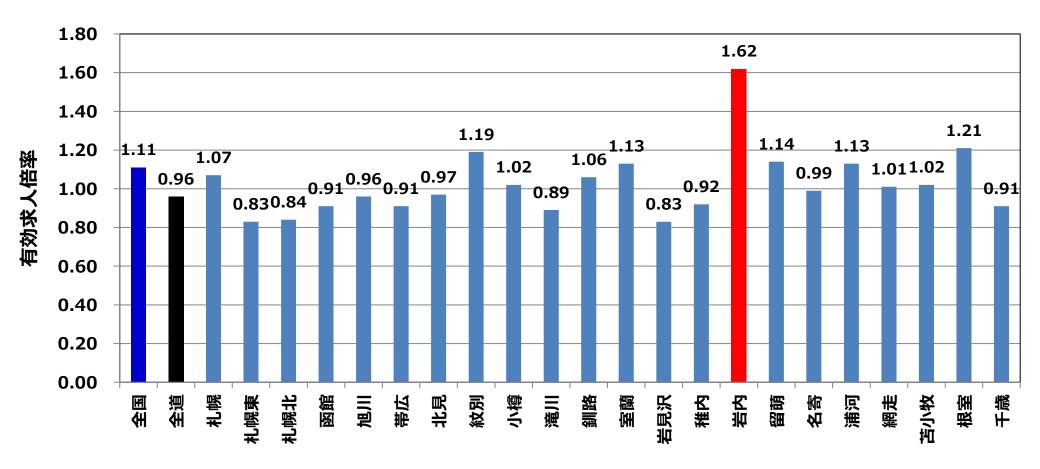
すでに展開されている加工品(トマトジュース、乳製品、酒等)も多い。農産物が多種多様のため、加工品も量が確保しにくく、安定供給しにくい場合も。

ストーリー性

→越冬野菜は、雪のブランドカ、きれいな水で育った農作物等としてアピール

## (3) 働き手を確保する

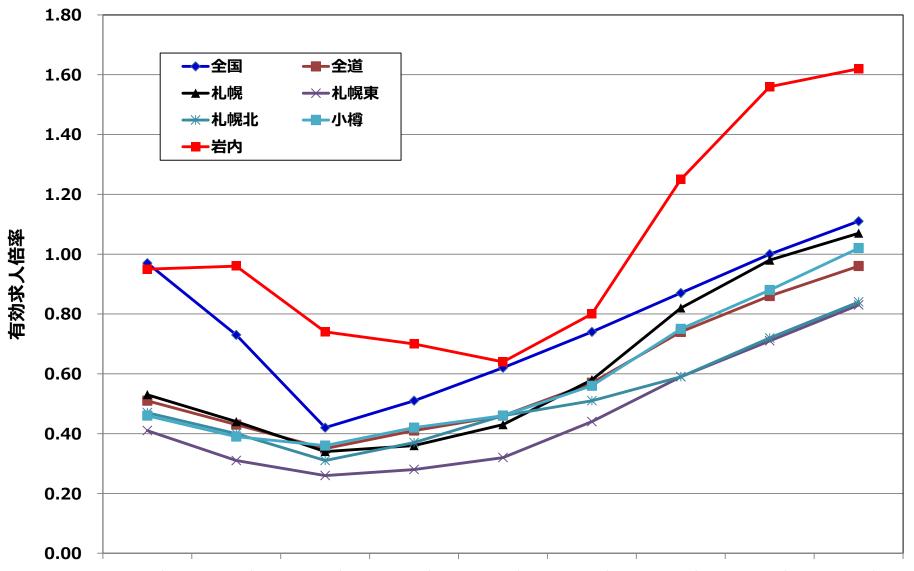
### ハローワーク岩内(ニセコエリアを含む)の有効求人倍率(平成27年度)は 道内ハローワークのうち最も高く、全国や全道も上回る。



#### 【ハローワーク岩内の管轄】

- ・ハローワーク岩内(岩内町、神恵内村、共和町、黒松内町、島牧村、寿都町、泊村、蘭越町)
- ・ハローワーク倶知安分室(喜茂別町、京極町、倶知安町、ニセコ町、真狩村、留寿都村)

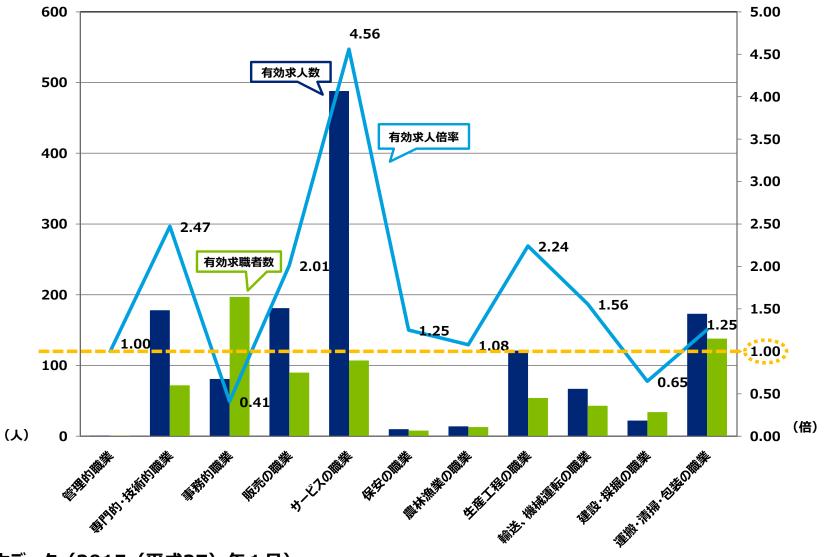
## ハローワーク岩内(ニセコエリアを含む)の有効求人倍率(平成27年度)は 道内ハローワークのうち最も高く、全国や全道も上回る。



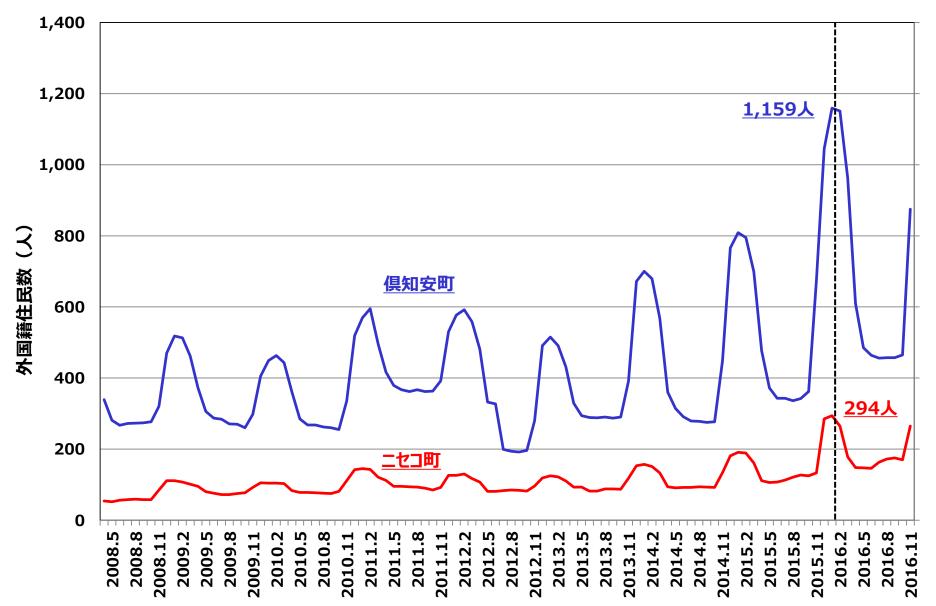
平成19年度 平成20年度 平成21年度 平成22年度 平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度

#### ハローワーク岩内エリアは、特に「サービスの職業」※の人材不足が深刻。

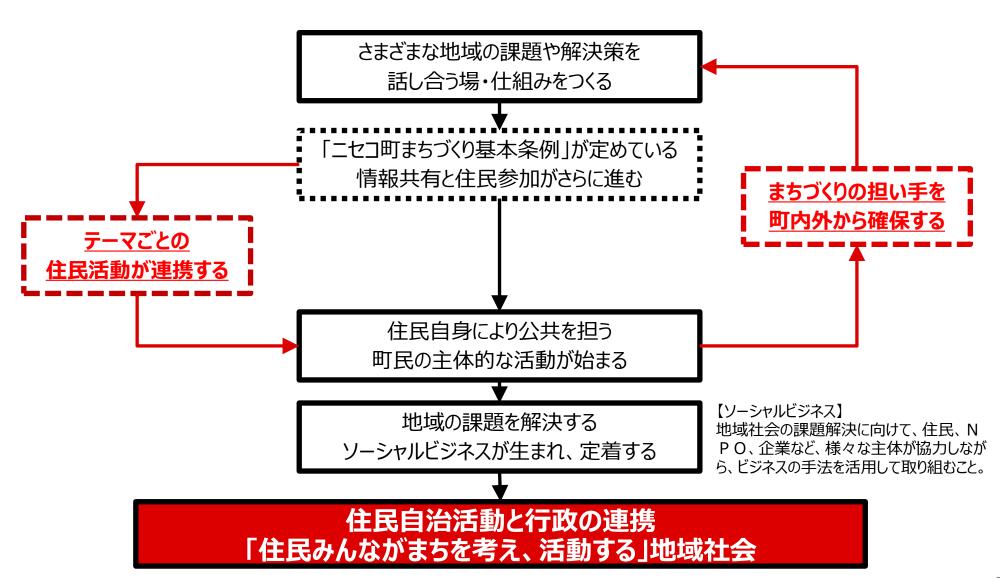
※ 家庭生活支援サービスの職業、介護サービスの職業、保健医療サービスの職業、生活衛生サービスの職業、 飲食物調理の職業、接客・給仕の職業、居住施設・ビルなどの管理の職業など



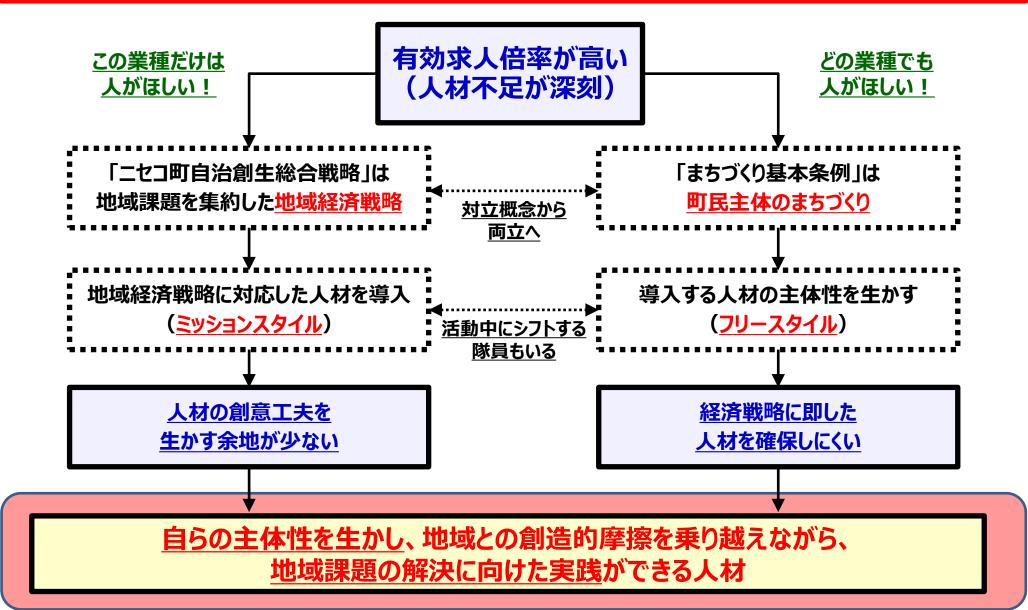
## 冬季の季節労働者は、国内だけで確保できない。海外から季節労働者を確保 するため、ニセコエリアの外国籍住民数は、冬季に一時的に増加。



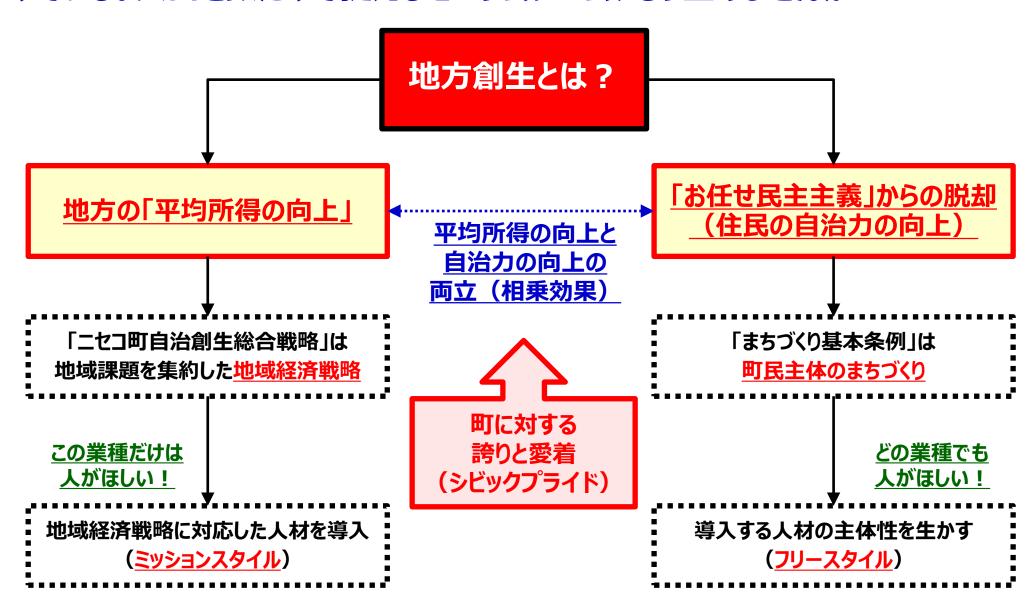
ニセコ町の地方創生は、「自治創生」。国全体の人口減少の中、「まちづくり基本条例」に基づき、住民自治(町民主体のまちづくり)を進めるための取組。



## 自らの主体性を生かし、地域課題を解決できる人材を、 地域おこし協力隊制度で確保する!



地方の人材確保の戦略は、「地方創生とか何か」という大前提を改めて問いかけている。人口を数だけで捉えるゼロサムゲーム、もう止めませんか?



# まとめ

#### 町内での観光消費

#### 働き手を 確保する

● 自らの主体性を生かし、地域課題を解決できる人材を、<mark>地</mark> 域おこし協力隊制度で確保する!

## 観光客と「食」をつなぐ

- 道の駅「ニセコビュープラザ」から、<u>冬期の「食」(料理)をヒ</u>ラフに届ける!
- ニセコエリアの飲食店を増やし、食材と観光客を飲食店に 集める! (飲食店を増やす、地域商社等)
- 公共交通を最適化して、<a href="#">観光客が二セコ町内を周遊</u>しやすくする!</a>
- すでに検討・実践から見出している課題をどう乗り越える?

#### ニセコ町の 「食」を生かす

● ニセコ町の「食」の強みは、"品揃えの多種多様さ"

## RESASは、住民の「こころ」を動かせますか?

